

「奨学金給付を目的とした

長崎県立大学基金(案)の創設について」



長崎県公立大学法人理事長
稲永 忍

鵬友会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には、「模擬面接官を務めての佐世保就職セミナーの開催等、日頃から多大のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

お陰様で、平成二十八年度の就職状況(平成二十九年三月三十一日現在)は、昨年度に引き続き極めて良好です。就職率は大学全体で九七・五%、学部別では経済学部九七・二%、国際情報学部九七・六%、看護栄養学部九八・九%となっております。

また、平成二十九年度入学者数は学部学生七四七名、大学院学生二二名です。学部入学生の内訳は、佐世保校の経営学部一三三名、地域創造学部二六四名、シールト校の国際社会学部六五名、情報システム学部八十八名、看護栄養学部一〇七名となっております。さて最近、佐世保校学生生活実態調査結果(平成二十八年度)に基づく指摘を、後藤正之教授(地域創造学部実践経済学科長)から頂きました。その中には、「調査回答者の約八割が

自宅外通学生であり、自宅外通学生の半数以上の食費が月二万円以下、生活費も二万円以下。仕送り(自宅外通学生)・小遣(自宅通学生)を受けていない学生が五割弱。約八割の学生がアルバイトをしている。そのうち約四割の学生が週四〜五日勤務、半数以上で二日平均勤務時間が四〜六時間。」と記されています。本学学生が厳しい経済状況に置かれて、このことを改めて痛感させられています。現在、経済的困窮者に対しては学費減免措置等の支援を行っていますが、残念ながら大学の財源には限りがあります。

そこで、可能であれば本年度中に長崎県立大学基金(案)を創設し、困窮度の高い学生に対して、まずは食費補助程度の奨学金の給付から開始したいと思っています。

世の経済状況も大変厳しい折ではありますが、他の国公立大学に倣い、基金の原資を、教職員や卒業生(本学が四年制大学となつてから、佐世保校とシールト校合わせて九二・〇七名)、篤志家等の皆様から募りたいと考えています。ご寄付頂いた方には、「芳名を本学のホームページに設ける」「長崎県立大学基金(案)芳名録」に掲載するなどして、感謝の意を表したいと思っております。基金創設の暁には、是非ご協力賜りますようお願い申し上げます。末筆になりましたが、貴会が若い世代や女性の卒業生との結びつきを「層強められ、更なる発展を遂げられることを心より祈っております。

昨年参加の学生から嬉しい言葉が届きました。

セミナー体験を活かして今後の就活を。

地域政策学科四年 齋藤 健人

この度は私たちが三年生のために佐世保就職セミナーを開いていただきありがとうございました。お忙しいなか面接官役をしてくださった四年生、OB・OGの皆さま、心よりお礼申し上げます。

佐世保就職セミナーに参加するにあたり、就職課の指導のもと様々な準備を行いました。ESを書いたり、集団面接の講習を受けたりと今まで経験したことのないことばかりでしたが、就職活動に向けて準備を行っていると実感がありました。しかし、就職セミナーの日が近づくと、模擬面接でどんなことを言われるのか、面接官が怖い方だったらすこし緊張と不安でいっぱいでした。

一日目のグループディスカッションでは進んで発言をおこなったり自分では手こたえを感じていました。しかし、試験官の方からは声が小さく何を話していたかわからなかった、もっと積極的に発言をした方が良いと注意を受け、自分の力不足を実感しました。模擬面接ではエントリーシートに記載した企業についての情報不足や自己PRの準備不足をご指摘いただき、自己分析や企業研究をこなしなくてはならないことがまだまだであると実感しました。休憩時間では、面接官の方から就活の際のアドバイスや仕事内容をうかがうことができました。普段の学生生活の中では気が付かないことやわからないことを知ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

二日目の模擬面接では、一日目に注意されたことを意識して臨みましたがやはり自分の知識の浅さ、自己分析の甘さを痛感しました。自己分析や企業研究は一朝一夕でどうにかなるものではなく、日々の積み重ねが重要なことと感させられました。最後の昼食会では、OBの方や四年生の先輩方からこれまでの就活に向けて励ましのお言葉をいただき、これから一年間頑張ろうという気持ちになりました。

佐世保就職セミナーでは多くの先輩方からアドバイスや励ましのお言葉をいただきました。今回のことを活かし、今後の就活をがんばっていききたいと思います。

今回失敗したことを本番では成功へとつなげる。

流通・経営学科四年 新川 望

お忙しい中、面接官をしていただいた皆さま、私たちが三年生のために佐世保就職セミナーを開催していただき誠にありがとうございました。

私は自己分析も十分にできておらず、興味のある職業も見つけることができていませんでした。また、私の最も苦手とする面接があることから、不安ばかりで佐世保就職セミナーに参加する勇気を出せませんでした。が、先輩や就職課の方々から背中を押していただき参加を決めました。

最初のエントリーシートはボロボロでしたが就職課の方が丁寧にやさしく教えてくださり、自己PR等を書いていく中で自己分析を深めていくことができました。他にも事前準備としてグループディスカッションや集団面接の練習もあり、いきなりセミナー本番ではなかったための準備をして臨むことができました。佐世保就職セミナー当日は、面接官の方の思っていたよりもご年配の方が多く、緊張と不安に押しつぶされそうでした。

一日目はグループディスカッションも個人面接も厳しいお言葉をいただくこともありましたが、しかし、私たち一人一人に細かくわかりやすくご指導していただき、それぞれに課題を見つけていくことができました。

二日目は昨日の良くなっているけれど、まだまだとの評価でした。今回のセミナーで初めていただいた笑顔などは自分の武器にし、今回失敗したことは本番では成功へとつなげていきたいと思います。

セミナー応募者募集

本年も十一月開催予定の佐世保就職セミナー応募者を募集しています。後輩への良いアドバイスをお願いします。お問い合わせは各所属長又は鵬友会事務局まで

新役員紹介



大平 英一
(平成四年度卒)

皆様、こんにちは。この度、鵬友会会計に就任致しました大平です。 mottoは「日々是好日」です。目前の現実が喜びであろうと、悲しみであろうと、ただ今、この一瞬を精一杯に生きることで、毎日が全て素晴らしい日になるといふことだそうです。

私は平成四年度に大学を卒業し、現在は親和銀行に勤務しております。卒業当時は、ちょうどバブルが崩壊した頃で就職氷河期に入る頃であったように記憶しております。私達が、ちょうどロスジェネレーションといわれた最初の世代ではなかったかと思えます。以後、四半世紀が過ぎましたが、この二五周年は、年功序列や終身雇用の崩壊、企業同士の統合等の様々な変革に翻弄された時代でもありましたが、「日々是好日」の motto に沿って、日々を頑張っております。今後は鵬友会会計として母校や卒業生の発展に全力を尽くしていく所存でございますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

今年度役員

役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度	役職	氏名	卒業年度
副会長	藤木 秀人	昭51	理事	永嶋 圭祐	平1	宮崎支部長	砂原 俊秀	昭49
副会長	荒木 義伸	昭53	理事	豊島 真由美	平4	鹿児島支部長	濱田 一穂	昭49
副会長	角田 隆一郎	昭59	理事	久保川 利光	平10	中国支部長	粟根 秀則	昭59
監事	林 宏彦	昭49	理事	松永 彰裕	平10	関西支部長	星 憲夫	昭47
監事	岡 龍	平8	理事	古川 剛	平11	東海支部長	神藤 和彦	昭53
監事	松本 文昭	昭47	理事	山口 智久	昭52	関東支部長	小室 宏	昭52
監事	川尻 佳嗣	昭55	長崎支部長	川久保 芳洋	昭50	相談役	草野 豹一郎	昭45
監事	福島 明満	昭57	佐賀支部長	吉浦 啓介	昭51	相談役	前田 敬一	昭46
監事	中池田 正	昭58	福岡支部長	荒木 崇	平8	相談役	前田 明幸	昭47
監事	村田 明人	昭63	大分支部長	青野 浩志	昭53	相談役	前田 幸吉	昭47
監事	岩崎 土	平1	熊本支部長	清水 孝	昭62			

おとり

Vol. 30

発行

長崎県立大学佐世保校同窓会鵬友会
佐世保市川下町一三三(大学内)
TEL/FAX 〇九五六一四七五二四六
フリーダイヤル 〇二〇一四七一九〇四四

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会報

新会長に就任して



宮地 学 (昭和五十二年卒)

何年たっても、仲間はずい。

私は平成二十八年七月の鵬友会総会で第六代目の会長に就任いたしました宮地でございます。鵬友会会報「おとり」(Vol. 30)発行に際しまして、会員の皆様にご挨拶申し上げます。

長崎県立大学佐世保校同窓会(鵬友会)会員の皆様におかれましては、益々ご清栄にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

母校、長崎県立大学佐世保校では、本年十一月に創立五十周年記念事業の開催が企画されています。鵬友会としても五十年という大きな節目を迎え、積極的に協力体制を作っていくと考えています。会員の皆様におかれましては、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

思い起こせば、五十年前前に経済学部の単科大学として開校しました長崎県立国際経済大学ですが、昨年の学部学科再編によりシールト

ト校を合わせまして五学部(経営学部、地域創造学部、国際社会学部、情報システム学部、看護栄養学部)からなる総合大学に生まれ変わりました。まさに隔世の感があります。

開校当時の卒業生は、名もない地方大学卒ということで就職活動には大変苦労したと聞き及んでいます。それら先輩方が社会の中核で活躍され次第に大学の知名度も上がり、現在では長崎県という地方から多くの逸材を全国に輩出する学府へと成長しました。

鵬友会の会員総数も現在二万五千人を超えています。この大きなコミュニティが会員相互の交流の場として活性化すれば、会員各自の人脈作りにも大きく貢献できますし、大学ひいては学生達への支援体制も強化できると考えています。

現在社会は、将来を見とおせない混沌とした時代であり、今後ともこの傾向は続いていくのであろうと予想されます。こういうときにこそ「何年たっても仲間はずい」という鵬友会のスローガンのもと、多くの同窓生が集い、情報交換することが大切ではないでしょうか。

最後になりますが、鵬友会からなる発展に向けて私をはじめ役員一同精一杯会務運営に努めていく所存でございます。皆様のご支援、ご協力を切に願ひまして、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。



平成二十八年七月十六日(土) おとりたちが一堂に集う。



平成二十八年七月十六日(土)、三年に一度の鵬友会総会がレオプラザホテル佐世保にて行われました。

十五時から役員総会、十七時から総会、その後懇親会の中で、今後の同窓会の方向性の確認ができ、また、情報交換並びに旧交を温める絶好の機会となりました。

役員総会では、会長に宮地学氏(昭和52年度卒)、副会長に藤木秀人氏(昭和51年度卒、留任)、荒木義伸氏(昭和53年度卒)、角田隆一郎(昭和59年度卒)、会計に大平英氏(平成4年度卒)が選出され総会で承認されました。

役員総会では、各支部の報告で、支部会への若手の参加者が少ないことへの悩みが共有されました。開かれた同窓会、拡大する同窓会、また参加したい同窓会を目指し、本部、支部とも全力を挙げなければならないとの問題意識も共有され、迎える側の意識の高まりを感じさせるものでした。

全体を通じ、大学ともよく連携し、OBと学生の絆を深め、学生が同窓会に積極的に参加する雰囲気づくりを醸成する必要性を感じました。当然ですが、既卒の同窓生の掘り起こしも急務です。

同窓会は、みんなのものです。今後の同窓会行事への多く同窓生の参加で、各同窓生の拠り所となれるような同窓会を目指さなければと感じました。まだ参加されていない同窓生は、是非、次回で参加ください。もちろん大歓迎です。皆さんのかわりで、たくさんのお得なものを積極的につかんでください。よろしくお願ひします。

副会長 角田隆一郎(昭和59年度卒)

新しいキャンパス整備が はじまります。

「地域に開かれた魅力あるキャンパス」を基本理念として掲げ、平成二十八年四月にスタートした新学部学科の教育研究に対応し、幅広い世代の人々の学びの場として、様々な交流の拠点となるようなキャンパス整備を行います。

旧き良き伝統を継承し、同窓生の皆様にも親しまれるキャンパスを目指しますので、これまで同様にご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

※建替え対象の校舎

本館・管理棟(S42)、大学院棟(S42)、武道館(S43)、
旧図書館棟(S44)、学生会館(S44)

◆基本情報

- 平成二十六年度、キャンパス整備基本構想策定、県との協議
- 平成二十八年度末、プロポーザルにより設計業者決定(石本、建友社J.V)
- 平成二十九年三月、三十年九月、設計業務委託(基本設計実施設計)
- 平成三十年度、三十六年度、建設工事



広場内から見たイメージ



グラウンド方面から見たイメージ
広場を囲んで建物立ち並んでいる



現在の正門付近(県道)から見たイメージ

※あくまでイメージ図であり、実際のデザインとは異なります。

全国各支部からの活動状況をお知らせします。

関東支部

●支部長 小室 宏

〒0000-7005・6214

旭市東飯能市美杉1-2015

参加者数の V字回復を実現!

関東支部から嬉しい最新情報です。
(四月三日記述)

昨日四月二日(日)、恒例の「四ツ
谷桜の花見」を開催しました。

なんと、家族含めて九名の方に参加し
ていただきました。

Kさん、Yさん、Yさん、Nさん、Nさ
ん、Iさんご夫妻、Sさん、ありがとうございます。



恒例の四ツ谷桜の花見

7月17(日)

唐津日帰りツアー

創作イタリアン
レストラン
「櫻(けやき)」

副会長 藤木 秀人
(昭和51年度卒)



平成二十八年七月十六日の土曜日に三年に一回開催の「鵬友会総会」が開催されました。その翌日は、恒例のゴルフコンペが実施されます。このコンペに参加しない方々を対象に日帰りの「グルメツアー」を実施しました。唐津にある創作イタリアンレストラン「櫻(けやき)」での食事会です。現地へ向かう道中に伊万里の土産物店などにも立ち寄り、観光も兼ねお腹も空いた頃にレストラン「櫻」に到着しました。

レストランでは、おいしいイタリアンのコース料理に舌鼓をうち、加えて楽しい会話も弾みました。忙しい日常ではなかなか難しい会員同士の交流ができ、充実した時間を過ごすことができました。前回は「魚山人(ギョサンジン)」(唐津)で開催され、真つ青に広がる海を眺めながら、海辺の料理屋でシェフ自慢の海鮮料理を味わいました。会員同士が「同じ釜の飯を食う」という思いで、交流を深めることができました。ことを大変喜ばしく思っております。

「週間前の快晴&満開の予想は外れて、曇りのち晴れ&五分咲きでしたが、お越しくださった皆様、楽しく歓談しておりました。二〇〇三(平成15)年から続いておりますこの花見の経緯については、昨年の同窓会報で詳しくお知らせしましたので、ご覧下さい。
http://ho-yu-kai.la.coocan.jp/01_honsibu/kaiho_pdf/2016_kaiho.pdf

さて、この会報がお手元に届くころ、長崎県立大学「東京のつどい」が開催されます。日には六月二十五日(日)で時間は未定ですが、たぶん午後から夕方になると思います。場所は都内の飲食店を予定しています。「長崎県立大学東京のつどい」は、昨年より定期支部総会と懇親会を一体化して、より和やかな雰囲気が集まった方の親睦を図ろうというものです。メインゲストは国士館大学の平川均(ひらかわひとし)先生です。平川先生には、一九八〇(昭和55)年から一九八九(平成元)年まで、当時の長崎県立国際経済大学でアジア経済論をお教えいただきましたので、多くの教え子がおられると思います。また、一九六七(昭和42)年開学から一九八二(昭和57)年まで、お教えいただきました廣井大三(ひろいだいぞう)先生を是非とも呼びましょう。先輩方と知恵を絞っている最中です。この会報をお読みいただいたのが、開催日の六月二十五日(日)の前でしたら、「前日申込」でも結構ですので、是非お越しください。

関東支部でもう一つ開催日の確定している活動は「飯能バーベキュー大会」です。八月二十七日(日)十二時から十五時を予定しています。

7月17(日)

親睦ゴルフ大会

【平戸カントリークラブ】

浜辺 千昭
(昭和46年度卒)



三年に二回の総会開催ではありますが、参加者の思い出に残る交流が広がれば幸いです。残念なことに、参加者が少ない現状です。次回総会への参加とともに、「ゴルフ」や「グルメツアー」へ会員の皆様方の多数の参加をお願いいたします。総会の熱気覚めやらぬ翌日、恒例の親睦ゴルフ大会が、十二名のゴルフ参加のもと、平戸カントリークラブで開催されました。好プレー、珍プレーが多発する中、学生時代に戻って親睦を深めたことは言うまでもありません。毎回ながら本当に楽しい一日でした。また優勝から三位まで濱田輝治元事務局長よりトロフィーの寄贈もあり記憶に残る親睦コンペとなりました。吾こそは!と思つてらっしゃる方は是非次回にご参加下さい。

開学50周年 記念式典への 寄付のお願い

昭和42年4月、長崎県立国際経済大学開学以来50年の節目を迎えることとなり、記念式典が来る11月12日(日)大学と共催で行われます。併せて鵬友会より大学へ40周年の節目にも会員皆様のご寄付のお力でマイクロバスを寄贈しましたが、今回も記憶・記録に残る記念品を寄贈する予定です。つきましては主旨ご賛同の上、会員皆様のご協力をいただけますようお願い致します。

- ◆1口 5,000円より 同封の振込用紙で振込み下さい。
- ◆寄付をいただいた会員は次年度会報おとりにおいてお名前を掲載致します。

この二、三年なせか天候不順で(けつ)して支部長の私の普段の行いが悪いのではありませぬ開催中止もしくは飯能市内食へ歩きになっております。バーベキューの場所は入間川の河原で、他にも多くのグループが肉をシュールジュしており、水遊びをするチビっ子の歓声が上がっております。隣接する駐車場は100台収容可能ですので、アルコールなしを覚悟の方はお車でどうぞ。圏央道のインターが近くにありますが、で、神奈川県や千葉県からもひとつ飛びます。

関東支部主催ではないのですが、友好団体の東京佐世保会主催の「ふるさと佐世保の夕べ」を最後に紹介させていただきます。毎年十一月に、東京在住の佐世保周辺の高校同窓の人を主体に集まります。ゲストは佐世保市長や佐世保出身の著名人で、佐世保ゆかりのおみやげもつきます。鵬友会関東支部では、毎年最低一名を派遣(参加費を支部で負担)しています。

以上の諸活動の詳細につきましては、近くになりましたら、メールでご案内したいと思います。メールアドレスの登録も合わせて、よろしくお願ひいたします。

メールを受け取れない方は、鵬友会本部ホームページの関東支部たよりをご覧ください。
http://ho-yu-kai.la.coocan.jp/01_honsibu/18_kanto.html

鵬友会ホームページURL変更

【新URL】 <http://ho-yu-kai.la.coocan.jp>

以前のトップページのURLからは自動的にジャンプするようにしておりますが、以前のURLで「ブックマーク」「お気に入り」等の登録を行っている方は、お手数ですが登録の変更をしていただきますようお願いいたします。鵬友会の新しい情報が満載です。ぜひご覧ください!!

転居の際は必ず新住所を事務局へお知らせ下さい

郵便局の転送サービスで会報を受け取られた場合は、宛先不明では戻ってこないため、住所を変更されたことがわかりません。そのため転送期間終了後は、あらゆる情報をお届けすることが出来ませんので、転送サービスで届いた方は、事務局に必ずお知らせ下さい。



1月開催の支部総会

も参加していただき、懐かしい思い出話や情報交換など、本当ににぎやかで楽しいひとときとなりました。これからも、会員の皆様のご意見をいただきながら、実りある支部活動ができればと思っています。

次に、今年度の活動予定ですが、今年度も佐世保就職セミナーに長崎支部から参加を予定しています。また、例年通り年明け一月下旬に、総会・新年会を開催する予定です。

詳しい日程等が決まりましたら同窓会のホームページ等でお知らせしますので、皆様方へついでに、ご参加ください。

関西支部

●支部長 憲夫 (47年度卒)
072・2995・5750
(自宅)
大阪府高石市北花田1-7-7

新たな仲間づくりができる機会の場

関西支部では、二〇二六年十月八日(土)に支部総会を執り行った。本部から参加頂いた藤木副会長の挨拶、星支部長乾杯のもと、関西支部総会が開始した。参加者は十四名、今まで昭和卒業の会員が中心であったが、今回平成卒業の会員も参加し、世代を超えて交流することができた。実はサークルの大先輩であるなど、共通の会話も多く、非常に有意義な総会であった。

参加者も少しずつ増加しており、今後も有意義な活動を行うことにより、より多数の方々に参加して頂ける様に取り組んで行かねばならない。

大学卒業後、大学の同窓生と会う機会も減り、会社関係中心の人間関係となるが、その様な中で新たな仲間作りができる機会を作って行きたい。

★支部総会概要

- (日時)二〇二六年十月八日(土) 19:00~21:00
- (場所)おほし処源平 JR尼崎駅前店
- (参加者) 藤本 秀人(S52) 本部副会長 星 憲夫(S48) 関西支部長 井手 隆彦(H8) 岩脇 秀和(S47) 大坪 美範(S48) 金森 由記(S62) 川嶋 真郎(S62) 寺田 史記(H11) 西田 英二(S50) 東 亨(S46)



平成28年度支部総会

松田直樹(S45) 山本育夫(S48) 横田朋幸(H6) 木野元朝幸(H8) ※()は卒業年度

熊本支部

●支部長 清水孝洋 (60年度卒)
0968・38・5809
(自宅)
熊本県菊池市泗水町吉富403-17

震災を乗り越えて再開 熊本支部八年目を迎える

先ずは昨年四月の震災により被害を受けられた会員の皆様、ご家族が被害を受けられた会員の方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、鵬友会本部並びに各支部の皆様にはご支援のお言葉やお心遣いいただきました事、この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

先に述べましたように昨年四月に熊本地方は大きな地震に見舞われ、

中国支部

●支部長 栗根 秀則 (50年度卒)
084・066・3369
(自宅)
広島県福山市神辺町道吉7-1サンパスト106

『中国支部設立 二十六年目に突入』 やらんばいかん！



中国支部設立26年目に突入

中国支部設立(平成三年十二月)から二十六年目に突入しました。前年度の活動は、昨年十一月の就職セミナー(一名の派遣、今年二月の福山区区会(七名参加)の開催に止まりました。

各支部の盛況さを見て反省するとともに、設立当初の意気込みをもう一度思い起こして「やらんばいかん！」魂を取り組んでいく必要があると考えております。

中国支部の現状の活動拠点は、福山市、広島市、岡山市で、地区会が開催可能な状況です。当支部の課題は、日本の現状と同じく、参加者の高齢

支部会員にも多数被害が出ました事を考慮し、六月に開催予定であった総会及び懇親会を自粛する事となりました。

これまで熊本に於きましては地震に関して大きなものはなく、まさか熊本にこの様な災害が襲い掛かってくると思いません。県民全員が予期してなかつたものと思います。

当初はショックで県内全体に於いて自粛ムードも強く、先行きへの不安に押し潰されそうな雰囲気もあり前に進んでいるところでした。

そのような中でしばらく活動を自粛していた熊本支部も十二月二十六日の支部忘年会より本格的に活動を再開いたしました。

しかし、二本の石垣で支えられた熊本城に象徴される様に「がんばれ！熊本！」を合言葉に県外の皆様からの暖かい声援、ご支援もあつて県民丸となり復興に向けて一歩ずつ確実に前に進んでいるところです。

当日は震災直後にも関わらず来賓を含め四十名もの卒業生が集まり昔話を話して笑うことが出来ました。

参加者は国県立大開校当初の大先輩から平成卒の県立大の若い世代まで幅広い世代の方々に集まっていたので、大変嬉しく思います。

昨年、自粛しました支部総会、懇親会は六月初旬に開催する予定です。まだまだ地震の影響が残っているとありますが、より多くの会員の方々に参加を頂き熊本を鵬友会としても盛り上げて行きたいと考えています。

現在、熊本に居住されていない熊本出身の同窓生や学生時代の親しい友人が熊本にいる方、懐かしき学生時代の話をし是非ご参加ください。

また、平成二十二年に立ち上がった熊本支部も今年で八年目を迎える事となりました。

初代支部長の林先輩や多くの先輩方が礎を築かれた後に、我々の世

化の進展と若手の新規参加が少ないことであり、是非とも積極的な参加方、まずはご二報をお願いするものです。

本年度の活動は、福山市、広島市、岡山市での定例地区会の絶対開催と支部の枠を越えて四国(松山市)で初の地区会開催という夢の実現に向け、やり切る力で頑張つてまいります。

中国地方は広範囲ですので地域分散小規模開催(最低3名以上)でも可能ですので、山口や山陰地区等で拠点担当事務局を引き受けていただけの方も、是非ともお気軽にご二報いただきますようお願い申し上げます。

また、ご意見ご要望、情報等含め何でもご連絡いただきますよう重ねてお願いいたします。

大分支部

●支部長 青野 浩志 (60年度卒)
097・544・8016
(自宅)
大分県大分市豊郷組1

大分県にお住まいのあなた！一度顔を出してみませんか？ 『ありのまま』で集える、そんな仲間たちです！

昨年十一月、支部長を仰せつかりました青野と申します。

二十三年前に産声をあげた大分支部も、その創成期を担った先輩諸氏からの世代交代の時期を迎え、私はその繋ぎの役目だろうと思っております。船越事務局長(H18年卒)や大波多事務局長次長(H18年卒)をはじめとした若いメンバーとともに、焦らずゆつくり

長崎支部

●支部長 川久保 芳洋 (60年度卒)
0951・838・0169
(自宅)
長崎市高城町1-134

会員の意見を取り入れた実りある支部活動

平成二十八年年度の長崎支部における活動状況ですが、まずは、七月十六日に「レオパザホテル佐世保」で開催された鵬友会総会に長崎支部長が出席いたしました。大学関係者や鵬友会本部の方々と他支部の皆様と交流を深めることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

また、十二月十九日及び二十日に開催された佐世保就職セミナーには、長崎支部から二名が参加し、他支部の方々とともに学生への面接指導等の就職支援を行いました。

当初長崎支部から三名参加する予定でしたが、急遽都合により二名の参加となりご迷惑をおかけしました。しかしながら、昨年度卒業した方も参加し、より学生の立場にたつたアドバイスができたと感じています。

さらに、長崎支部の一大イベント、恒例の総会・新年会を、平成二十九年二月二十八日に長崎市の「セントヒル長崎」で開催しました。当日は、名誉教授岡崎先生、元事務局局長濱田さん、本部の藤本副会長をはじめ、ご数年では最多となる四十二名の皆様に参加をいただきました。

特に今年は、昭和四十五年卒の一回生の皆様も九名もご参加いただくとともに、平成二十七年卒の最新会員一名のご参加もあつて、まさに県立大学の長い歴史を感じることであります。福岡支部と熊本支部から



平成28年度支部忘年会

事務局では日々名簿の更新を行っていますが、多くの会員の手元に届くよう努力しています。

卒業生の皆さん、鵬友会からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。

ちよつとした心掛けが同窓会を応援しているのです。

お願い

と次の世代へバトンタッチしていきたいと考えています。

そのためには、先輩諸氏はもとより、若い仲間のネットワークを大切にしながら、総会(11月)や就職セミナー(2月)、そして六月と九月の第三金曜日の交流会を開催しながら、何年たつても仲間は仲間」の輪を少しでも広げていきたいと思っております。

そうした中、二月十九日に開催した「第二十回大分支部就職セミナー」には現三年生九名、OB二十数名が参加し、OBからの愛情に満ちた助言のほか、懇親会ではあちらこちらで笑の花が咲いていました。今回参加された三年生が就職戦線を勝ち抜き、できれば大分支部で再会できることを楽しみにしています。

また、支部活動の見える化や仲間の情報交換の場として、鵬友会大分支部LINEグループ(現登録22名)や携帯メールで情報発信してまいりますので、どしどし参加してもらえば幸いです。

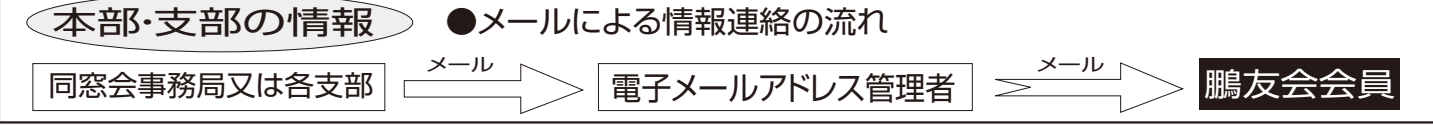


第20回大分支部就職セミナー

メールでの情報を希望の会員はアドレスをお教えてください。

年々会員数が増えるなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで、平成15年7月の役員総会において、今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議いたしました。つきましては、会員の皆様はメールアドレスを管理者にお教えください。なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。また、登録メールアドレスの確認も含めて、この会報の届く直前に「会報発送メール」を送信しました。メールアドレスを以前に登録いただいている方で、未着の方は誤ったメールアドレスが登録されている可能性がありますので、再度お知らせください。

メールアドレスの管理者氏名/小室 宏/関東支部長・アドレス/komuro@ho-yu.com(ここにメールを送って下さい)



宮崎支部

●支部長 砂原 俊秀

〒8098505 566-7318
(自宅)

宮崎県宮崎市希望ヶ丘3-2-11

第五回宮崎支部総会開催

平成二十八年十月二十九日(土)、ホテルメリージュ「琥珀の間」にて五回目となりまず支部総会を開催いたしました。

来賓として福岡支部 熊本支部、鹿児島支部から参加をいただき、総勢二十名の方の参加での開催となりました。ご出席いただきました皆様、心から感謝申し上げます。

支部総会は、開会挨拶に始まり、来賓紹介、活動報告、会計報告ならびに会計監査報告、質疑応答とスムーズに進行し、無事終了いたしました。その後、写真撮影を行い、懇親会へと移りました。

懇親会では、同世代間での学生時代の思い出や先輩、後輩での佐世保の移り変わりの様子などの話で会話が盛り上がり、みなさん限られた時間の中で、とても語りつくせないような感じでした。

そして、最後には、本県で演歌歌手として活動している鈴木啓介さん(平成12年度卒業の歌の披露もあり、少人数ではありましたが、世代を越えて交流を深めることが出来ました。

今回は仕事等の都合で参加できない方も多数いらっしゃいましたが、今後とも人と人のつながりによって参加者の拡大に努めていきたいと思います。

宮崎支部の皆様、更に多くの卒業生にお集まりいただき、同窓会活動を盛り上げていきたいと思っておりますので、総会の際にはお気軽にお集まりください。皆様方のご参加をお待ちしています。

ちいたしております。今後とも宮崎支部をよろしくお願います。



平成28年度支部総会

佐賀支部

●支部長 吉浦 啓介

〒8095202 662-2109
(自宅)

佐賀県佐賀市大和町東田4471番地

各支部との交流を積極的に

昨年十月に本部並びに各支部からのご来賓をいただき、佐賀支部総会を開催しました。総会は隔年で開催しており、今回は来賓九名を合わせると総勢三十四名での開催でした。ご来賓の皆様には公私ともお忙しい中、誠にありがとうございました。支部会員は二十五名の参加でしたが、今回も私を含め六〇歳を超えた方が

大半で、年々高齢化が進行しています。これからの支部活動を若い世代に引き継いでいくために、どうしたらいいものやらと思索しています。昨年から今年にかけて、福岡支部、熊本支部、鹿児島支部の総会並びに忘年会に参加させていただきました。各支部とも二十代、三十代の若い会員が参加されており、どうにかせねばとの思いを、強くしました。熊本支部では、学年先輩及び同級生に卒業後初めて会いました。四十年振りでしたが、四十年の歳月を飛び越して、昨日卒業したみたいに、学生時代の話で盛り上がり、とても楽しい時間を共有できました。鹿児島支部でも二年先輩、そして同級生二名と卒業後初めて再会し、部活、下宿して「ささ」などの話で学生生活を懐古しました。当時の定員は二〇〇名で、経済学科だけの単科大学だったもので、今でも顔と名前が致し、ひとりひとりに対する印象にはより深いものがあります。佐賀支部長を仰せつかつて約三年が経過しますが、これまで参加できなかった支部へ積極的に挨拶し、更なる再会を求めていきたいと思っております。その節はよろしくお願います。



平成28年度支部総会

東海支部

●支部長 神藤 和彦

〒8093271 644-0847
(自宅)

愛知県豊橋市北町薬師前4-1-4

新体制でのスタート

東海支部は、三月十一日に第十二回総会懇親会を名古屋国際ホテルにて開催致しました。今回の会合は初参加者一名を含む計十名での開催となりました。

総会では、東日本大震災で亡くなられた方々への黙とうから始まり、①平成二十八年活動報告(七月鵬友会役員総会、十一月佐世保セミナーへの出席等)および平成二十八年活動報告の承認を頂き、その後②平成二十九年活動予定の案内を行いました。

また、支部の役員改選を行い、六年間ご尽力頂いた中村二支部長の後席を私が担うことと、併せて事務局(阪勇人さん)と総務(広報)改撥久則さんの方々の再任も決断いたしました。当支部の現状として、ここ数年の参加者が毎回十名前後であるため、支部活動として自慢できるものが残っていません。次年度以降の参加者増員を目指し、支部活動の活性化を図りたいと考えております。



平成28年度支部総会

福岡支部

●支部長 荒木 崇

〒8090078 835-8401
(自宅)

福岡県福岡市博多区下島服町2-6-601

支部総会を六月に変更

お疲れ様です。福岡支部長の平成八年度卒業荒木です。今年度も引き続き務めさせていただきますのでよろしくお願いたします。

今年度は新体制になって初めての総会を実施します。福岡支部では例年四月に実施していましたが、六月に実施することになりました。今度とやり方を変えて、より参加しやすい総会ができればと役員一同準備しています。

全支部の中でも二本の指に入るほど懇親会の多い福岡支部では二カ月に一度開催して会員の交流を図っています。今年度からは幹部会議で話し合った内容をプリントにして福岡支部の情報だけでなく役員会や他支部の総会等も支部内で情報共有するようになっています。

懇親会も福岡支部以外の方にも多くご出席をいただいております。盛り上がりがありました。学長杯ゴルフコンペについては福岡支部で担当させていただきました。前夜祭など非常に盛り上がり、ありがとうございました。この場をお借りして参加の御礼を申し上げます。併せて各支部様総会にも積極的に参加して各支部様と親睦を深めることができました。各支部の皆様へご招待いただきありがとうございます。

しかし、荒木による鵬友会ツーリングクラブについては私の転職とバイクの車検切れで実施出来ず、二部バイク乗りが集まって懇親会を開催しただけになりました。これもひとえに私の不徳のいたすところであり、今年こそ

鹿児島支部

●支部長 濱田 一穂

〒8080029 907-9977
(自宅)

鹿児島県鹿児島市豊徳寺台3丁目43-12

様々な取り組みをスタート

第六回鹿児島支部総会開催
鹿児島支部は発足して以来六回目の支部総会を開きました。第四回以降二年おきに開催しています。支部発足の準備期間を含めると九年になり、発足当初から役員をはじめ、鵬友会本部、大学の関係者、そして多くの卒業生の方々に参加、協力をしていただき、今まで和気藹々とした支部の運営ができて、ことに大変感謝しています。



2ヶ月ごとに開催の支部交流会

は、ということで引き続き計画だけではありません。そのときは福岡支部のFacebookでご連絡しますので興味のある方はチェックしてください。最後はアントニオ猪木ではございますが、「いつ、何時、誰の参加でも受け付ける」をモットーに今年度も懇親会を企画していますので皆様のご参加、お待ちしております。

さて、今年二月二十五日(土)に、鹿児島市のホテルパレスイン鹿児島において、第六回鹿児島支部総会懇親会を開催しました。

鵬友会本部より宮地会長、佐世保、福岡、佐賀、熊本、宮崎の各支部からも参加して頂き、総勢四十数名の方々が出席していただき、楽しく開催することができました。今回は開催日と大学の入学試験と重なり大学の関係者の出席はなりませんでしたが、大学案内などの多くの資料を準備していただいたり、又、懇親会に美酒を頂いたり、本当に感謝感謝です。

宮地会長には鵬友会の現状や大学の現状についての報告を交えた挨拶をいただきました。我が母校である大学は新しい学部でのスタートをいたしました。特に私達昭和時代の人間にとっては「経済学部」という名称がなくなつたということは、何となく寂しい気持ちで一杯です。「国際経済大学」、「経済学部」……

しかしながら淋しい気持ちはさて置いて、社会が求める人材の育成という大きな使命に向かって大学がますます社会の中でその重要性を増しながら発展するように、層の協力をさせていただきます。総会では、二十七年・二十八年年度の二年間の活動報告、会計報告、会計



鹿児島支部総会

で集まりを持ってもらえるようです。こうした方たちの情報をもちに、同窓会名簿をより精度の高いものに上げていきたいと思ひます。

鹿児島県出身者はもちろんのこと、鹿児島県出身ではないけれど仕事で鹿児島市に居るといふ方ぜひ参加してください。「何年たつても仲間は仲間」。卒業生の皆さんが世代を超えて、地域を超えて楽しく集える鹿児島支部を作っていきます。

鹿児島支部の次の総会、懇親会は平成三十一年の開催になります。改めて総会懇親会の案内をいたしますので多くの皆さんが参加されるようお願いいたします。

面々はすでに学生時代にさかのぼり、サークルや下宿の話で盛り上がり、時空を超えた話が盛んにおこなわれていました。限られた時間での懇親会でしたが、参加された皆さんが親近感、連帯感を感じられたのではないかと思います。

徳久副支部長の挨拶と吉浦佐賀支部長の乾杯。二年振りの開催でしたが、参加された方々の嬉々とした表情に、開催準備にかけた苦労も吹っ飛び、楽しい瞬間に浸る瞬間でした。発足当時から毎回参加されている方、今回が初めてという方、そして昭和から平成、二期生の大先輩から、この間、新しく社会人となられた卒業生の方、幅広い世代の方々が参加されました。

今後の取り組み
今回名簿を整理し、二百三十名の方に案内状を送付しました。参加で返信があった方が四十名弱。不参加で返信が五十名強。宛名不明が四十名弱。約百名の方が返信をいただけませんでした。

前回までよりも皆さんの意識が変化しつつあるのかなと、思ったりしています。皆さんがもっと楽しく参加できるように支部づくりに取り組みしていきたいと思ひます。

また、同じ卒業年度の方、同じサークルの方、同じ職場の方などそれぞれ



平成28年度支部総会

佐世保支部

●支部長 山口 智久

〒8095628 668-7138
(自宅)

長崎県佐世保市赤崎町1461-2

本年は支部総会開催予定 多くの方のご参加を

- 平成二十八年年度の活動状況ですが、①八月の鵬友会役員総会、懇親会では、他の支部の活動に刺激を受けるとともに、二年ぶりの懇親会で交流を図りました。
- ②十一月の就職セミナー、鵬友会と学生の交流会では、若いOBも参加し後輩のために模擬面接にあたりました。
- ③十一月～十二月には業界・企業セミ



平成28年度会員交流会兼新年会

ナーの講師として、金融、卸小売、公務の各分野に六名を派遣しました。④二月には会員交流会兼新年会を開催し十九名が参加し、無事を確認するとともに一年の抱負を語り合いました。⑤そのほか、各支部との交流、本部役員会への出席などにより同窓会活動に努めたところです。

支部設立から早いもので四年が経過しましたが、他の支部の活動にはまだまだ及ばないのではないかと感じています。

大学も平成二十八年年度から学部・学科が再編され、「実践的カリキュラムで社会に通用する力を育成」を目標に掲げ、三年次には地場企業・公共機関を中心にインターンシップや実習が盛り込まれるなど、私たちOBが支援できる場面が増えてくるものと思われ、会員相互の親睦はもとより、こうした状況変化を捉えながら地元支部として本部とともに活動を進めていくことにより、地域の活性化にも寄与できることと思ひます。

最後に、本年は支部総会を開催する予定としておりますので、他の支部の方も含め、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

平成29年4月22日(土)、レオプラザホテル佐世保において役員会議が開催され、平成28年度決算報告及び平成29年度予算案が承認されました。その内、平成29年度予算案につきましては7月15日(土)開催の役員総会において承認の上履行されます。

平成29年度予算 (案)

(収入の部) (単位: 円) 平成29年4月22日

科目	予算金額	備考
1 会費 (卒業生)	144,000	@12,000×12名
2 会費 (新入生)	5,160,000	@12,000×430名
3 名簿代	0	
4 寄付金	300,000	
5 預金利息	1,500	
6 雑収入	170,000	役員総会
(小計)	5,775,500	
前年度繰越金	7,184,162	
合計	12,959,662	

平成28年度予算及び決算報告書

(収入の部) (単位: 円) 平成29年3月31日

科目	予算金額	実績金額	備考
1 会費 (卒業生)	144,000	216,000	@12,000×18名
2 会費 (新入生)	0	36,000	@12,000×3名
3 会費 (次年度新入生)	5,160,000	5,232,000	@12,000×436名
4 名簿代	0	0	
5 寄付金	300,000	383,000	75名
6 預金利息	1,500	976	
7 雑収入	320,000	336,910	
8 立替金戻り	0	54,136	
(小計)	5,925,500	6,259,022	
前年度繰越金	6,492,118	6,492,118	
合計	12,417,618	12,751,140	

(支出の部)

科目	予算金額	備考
1 鵬祭援助金	150,000	
2 卒業記念品代	240,000	
3 通信費	1,200,000	
4 人件費	900,000	
5 支部活動費	960,000	12支部
6 旅費交通費	200,000	
7 渉外費	80,000	
8 事務局費	70,000	
9 印刷費	1,000,000	
10 鵬友会基金特別積金	0	
11 会議費	100,000	
12 総会費	600,000	
13 雑費	10,000	会員総会
14 部活動援助費	20,000	
15 就職活動援助費	100,000	
16 創立50周年記念事業協賛費	3,000,000	
(小計)	8,630,000	
次年度繰越金	4,329,662	
合計	12,959,662	

(支出の部)

科目	予算金額	実績金額	備考
1 鵬祭援助金	150,000	150,000	
2 卒業記念品代	240,000	237,800	
3 通信費	1,300,000	1,211,597	
4 人件費	900,000	835,740	
5 支部活動費	960,000	960,000	
6 旅費交通費	250,000	122,184	
7 渉外費	80,000	69,066	
8 事務局費	70,000	57,799	
9 印刷費	850,000	1,050,840	
10 鵬友会基金特別積金	0	0	
11 会議費	100,000	59,940	
12 総会費	850,000	644,554	
13 雑費	10,000	9,322	
14 部活動援助費	20,000	20,000	
15 就職活動援助費	100,000	72,000	
16 会費返金	0	12,000	
17 立替金	0	54,136	
(小計)	5,880,000	5,566,978	
次年度繰越金	6,537,618	7,184,162	
合計	12,417,618	12,751,140	

(収入の部合計) - (支出の部合計) = (次年度繰越金)

12,751,140円 - 5,566,978円 = 7,184,162円

平成29年4月15日
鵬友会会長 宮地 学

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。
会計監査 林 宏俊・岡 龍彦

平成28年度貸借対照表

(単位: 円) 平成29年3月31日

資産の部		負債・資本の部	
現金	9,966	鵬友会基金特別積立金	6,000,000
郵便貯金	12,000	繰越金	7,184,162
普通預金	8,845,361		
定期預金	4,316,835		
合計	13,184,162	合計	13,184,162

平成28年度財産目録

(単位: 円) 平成29年3月31日

預金種目	金額	預入先
現金	9,966	
郵便貯金	12,000	佐世保西郵便局
普通預金	8,806,878	親和銀行本店営業部
普通預金	38,483	親和銀行相浦支店
定期預金	4,316,835	親和銀行本店営業部
(現預金合計)	13,184,162	
出資金	0	
合計	13,184,162	

平成28年度鵬友会基金特別積立金

(単位: 円) 平成29年3月31日

項目	入金	出金	残高
期首残高	-	-	6,000,000
当期繰入	-	-	-
期末残高	-	-	6,000,000

平成28年度 鵬友会本部活動報告

☆は支部応援活動

[平成28年]

- 4月5日(火) 入学式 於:アルカスSASEBO 澁谷会長・宮地副会長
- 4月16日(土) 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
- 5月31日(火) 大学就職ガイダンス講師「企業・業界研究」岩崎士弥氏
- 6月1日(水) 会報「おおとり」vol.29発行 11,079通 発送
- 6月26日(日) ☆ 関東支部総会「東京のつどい」 於:スナックセブン
- 7月2日(土) 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
- 7月16日(土) 鵬友会総会・懇親会 於:レオプラザホテル佐世保
- 7月26日(火) 鵬祭実行委員会へ鵬祭運営賞費援助
- 10月8日(土) ☆ 関西支部総会 於:おはし処源べい 藤木副会長
- 10月18日(火) 大学就職ガイダンス講師
「エントリーシート・履歴書の書き方」中原浩二氏
- 10月22日(土) ☆ 佐賀支部総会 於:ホテルグランテはがくれ 宮地会長
- 10月29日(土) ☆ 宮崎支部総会 於:ホテルメリージュ
- 10月29日(土) 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
- 10月25日(火) 大学就職ガイダンス講師「面接基礎対策講座」永嶋圭祐氏
- 11月19-20日(土・日) 佐世保就職セミナー 於:長崎県立大学
学生100名、OB41名が参加
- 11月26日(土) ☆ 大分支部総会 於:くじら1号

[平成29年]

- 1月28日(土) ☆ 長崎支部総会 於:ホテルセントヒル長崎 藤木副会長
- 1月28日(土) 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
- 2月19日(日) ☆ 大分就職セミナー 於:大分センチュリーホテル
- 2月25日(土) ☆ 鹿児島支部総会 於:ホテルパレスイン鹿児島 宮地会長
- 3月11日(土) ☆ 東海支部総会 於:名古屋国際ホテル
- 3月22日(水) 卒業式 於:長崎ブリックホール 宮地会長
卒業生へ記念品(実用生活便利辞典)を贈呈
- 3月25日(土) 本部役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
- 3月31日(金) 新入生より同窓会費が納入された

何年たっても、仲間はずい。

平成28年度も各支部の応援を含め、多くの活動を行いました。
平成29年度も各支部とのより深い連携を計りながら
鵬友会発展のため活動を行います。
会員皆様のご協力をお願い致します。

鵬友会の同窓会活動を支えてください

鵬友会会員1万5千名の同窓会活動費は終身会費で賄っており、終身会費は、概ね新入生の終身会費一括納入に頼っているのが現状です。同窓会活動は、就職セミナー、支部活動等年々活発化しており、その活動を支える同窓会活動費が逼迫してきています。終身会費を既に納入いただいた同窓の皆さんに寄付のご協力をお願いすると共に、終身会費を納めていただけていない同窓の皆さんには、是非この機会に納入をお願いします。出費多難の折とは存じますが、同窓会活動をご支援ください。

◆終身会費◆

12,000円(会費:1万円・入会金:2千円)

◆寄付金◆

金額は 3千円 5千円 1万円 それ以上は随意

※同封の振込用紙にて振込み下さい。

※申し訳ありませんが、払込手数料はご負担ください。払込手数料は、郵便局窓口は120円、3万円以上は330円、郵便局ATMは80円、3万円以上は290円となります。

★お問い合わせは事務局まで

TEL:0956-47-5146(電話窓口:平日午前9時~12時まで) E-mail:ho-yu-@nifty.com

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。

昨年度寄付のお願いを致しましたところ、多くの会員よりご寄付を頂きました。ありがとうございました。紙面を借りましてお礼申し上げます。鵬友会運営のためには皆様のご協力が必要です。引き続きよろしくご協力致します。

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会長 宮地 学

寄付者名簿(H28.4~H29.3)順不同・敬称略

木下 秀一	阿比留 正	長神 英聖	野村 剛	檜崎 勲
清田 健児	笠岡 一之	高松 正人	吉田 裕司	瓜生田憲治
近藤陽志夫	三津木英夫	上田 結	谷丸 優子	三原 大輔
榊原 雄三	田中 一成	多々川慎仁	高増 法廣	中島 憲二
千北 裕吉	松本 文昭	瀧口 治昭	草積 一夫	宮田 慎吾
宮地 学	山崎 聡	境松 太郎	堀川 輝理	北岡 俊司
浦利 三郎	有川 純和	福浦みなみ	松田 直樹	太田 道子
大宅 洋	小宮 三朗	原 英吾	澁谷 明幸	砂原 俊秀
安部 勝己	榎原 文男	尼崎 彰	藤井 新一	宮坂 崇
金崎 公英	柳 純	福吉 浩樹	林田 直樹	高橋 豊宏
竹之 下博	甲斐 秀明	藤木 秀人	永嶋 圭祐	荒巻 倫子
野間 健司	時崎 茂	中島 俊介	和田 直也	大浦 有一
日浦 淳子	松岡 紀昭	角谷 真司	水谷健太郎	迫田 有一
本村 英幸	浜辺 千昭	高森平太郎	三隅 芳	瀬口 卓也
芦刈 修司	小山 大輝	田中裕一郎	太郎浦雪乃	田岡 一樹

寄付金合計 383,000円

鵬友会ホームページURL変更のお知らせ

[新URL] <http://ho-yu-kai.la.coocan.jp>

以前のトップページのURLからは自動的にジャンプするようにしておりますが、以前のURLで「ブックマーク」「お気に入り」等の登録を行っている方は、お手数ですが登録の変更をしていただきますようお願いいたします。鵬友会の新しい情報が満載です。ぜひご覧ください!!

[鵬友会ホームページ] <http://ho-yu-kai.la.coocan.jp>

[鵬友会メールアドレス] ho-yu-@nifty.com

[管理者メールアドレス] komuro@ho-yu.com (小室 宏/関東支部)